

# 2024年度 事業計画書

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月31日

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

(ノーステック財団)

## 2024 年度事業計画 目次

<b>2024 年度 事業方針</b> .....	<b>1</b>
<b>1. イノベーション創出に向けた人材・技術シーズの発掘と育成</b> .....	<b>3</b>
＜研究開発助成事業＞ .....	3
（1）若手研究人材育成事業（札幌市補助・自主） .....	3
（2）イノベーション創出研究支援事業（北海道補助・自主） .....	3
（3）札幌バイオシーズ事業化支援事業（札幌市補助） .....	3
（4）次世代型研究開発事業（自主） .....	3
＜産学連携研究開発プロジェクトの創出・育成＞ .....	3
（5）産学連携研究成果展開事業（自主） .....	3
（6）成長型中小企業等研究開発支援事業（経済産業省補助） .....	3
<b>2. バイオ・ヘルスケア産業の育成・創出</b> .....	<b>4</b>
＜新事業創出に向けた研究開発支援＞ .....	4
（1）先端研究産業応用検証事業（札幌市補助） .....	4
（2）医療連携開発支援事業（札幌市補助） .....	4
（3）研究開発支援補助等運営事業（札幌市補助） .....	4
＜新規参入企業・スタートアップの課題解決支援＞ .....	4
（4）ヘルスケア関連産業参入支援事業（外部資金） .....	4
（5）スタートアップの課題解決支援事業（札幌市補助） .....	4
（6）展示商談会等参加支援事業（札幌市補助） .....	4
＜機能的食品・健康関連産業創出＞ .....	5
（7）機能的食品開発支援事業（外部資金） .....	5
（8）バイオ・健康長寿産業創造事業（自主） .....	5
<b>3. ものづくり産業の育成と集積</b> .....	<b>5</b>
＜新技術・新製品開発、実用化・事業化に向けた支援＞ .....	5
（1）ものづくり開発・グリーン成長分野推進事業（札幌市補助） .....	5
＜省力化・労働生産性向上に向けた支援＞ .....	5
（2）DX 等推進伴走型支援事業（自主） .....	5
（3）地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業（北海道補助） .....	5
（4）ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業（外部資金） .....	5
（5）ものづくり企業人手不足対策事業（札幌市補助） .....	6
（6）経済産業支援事業（自主） .....	6
（7）ビジネス創出連携事業（自主） .....	6
＜クラスター形成に向けた地域の仕組みづくり＞ .....	6
（8）地域産業クラスターものづくり支援事業（自主） .....	6
（9）食品産業クラスターの形成支援（自主） .....	6

<b>4. 持続可能で強靱な北海道産業の創出</b>	<b>6</b>
＜未来を見据えた産業創出＞	6
(1) 未来創造事業（自主）	6
＜基盤技術創出支援＞	6
(2) 幌延地圏環境研究事業（経済産業省補助・共同研究）	6
(3) 幌延地圏環境研究所運営事業（幌延町補助）	7
<b>5. 地域×テクノロジーを支える共創基盤の構築</b>	<b>7</b>
＜地域課題を解決する産学官連携イノベーション創出プラットフォームの構築＞	7
(1) 産学融合拠点創出事業「チャレンジフィールド北海道」（経済産業省補助）	7
(2) 産学融合プロジェクト支援事業（自主）	7
(3) スタートアップ・エコシステム共創プログラム事業（JST 委託）	7
(4) 北大リサーチ&ビジネスパーク推進支援事業（北大 R&BP 推進協議会委託）	7
(5) JICA 研修事業（JICA 委託）	7
(6) 産学官連携推進事業（自主）	8
(7) コラボほっかいどう運営事業（自主）	8

## 2024 年度 事業方針

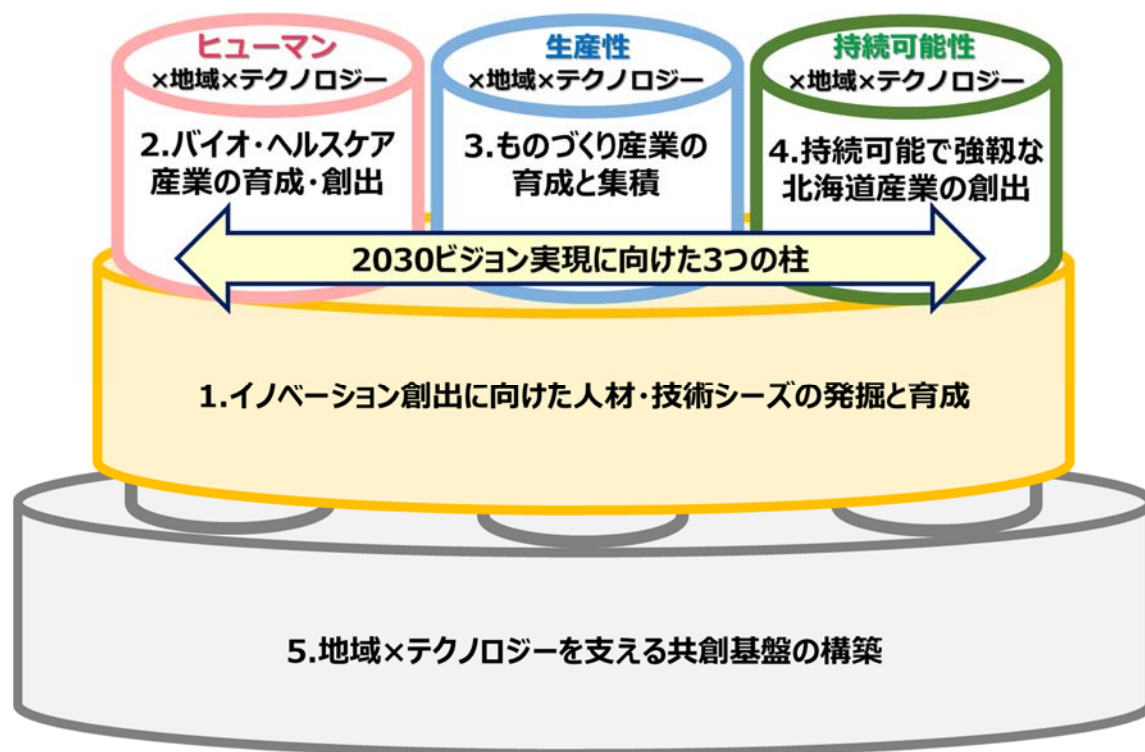
2023 年度、道内では 3 年間続いたコロナ禍が明け、経済活動の大きな回復がみられたが、国際情勢による食料・エネルギー問題、物価の高騰、気候変動、人口減少などの様々な課題に直面し、北海道経済は依然として厳しい状況が続いている。

一方で、ラピダス社による次世代半導体工場の建設、再生可能エネルギーの導入拡大や GX の動きなど、北海道経済の起爆剤となり得る大きなチャンスを迎えている。

ノーステック財団では、課題解決と経済発展を両立し、豊かさを実感できる北海道の実現に向けた「2030 ビジョン」を策定し、アクションプランの 5 つの取り組みに基づき事業を進めている。

2023 年度は、DX 推進、ゼロカーボン北海道に向けたモデル実証、チャレンジフィールド北海道、スタートアップ支援などを柱に、PDCA サイクルを確認しながら各種事業を実施した。

2024 年度は、これまでの成果を基盤として、「道内企業の DX 推進支援」、「脱炭素・半導体など未来創造事業の推進」、「最終年度を迎えるチャレンジフィールド北海道の自走化に向けた取り組み」、「大学発スタートアップ創出に向けた支援活動強化」および「食品産業クラスター創出に向けたモデルグループの形成」を柱に、戦略的かつスピード感を持った事業を展開していく。



2024 年度の主な取組みは、以下のとおり。

### 1. イノベーション創出に向けた人材・技術シーズの発掘と育成

従来から取り組んでいる研究開発助成事業について、研究成果をフォローアップし、事業展開が期待できるシーズに対して、専門家やアドバイザーを活用した課題解決支援、産学連携プロジェクト創成を支援し、事業化やスタートアップ創出に向けた取り組みを加速させる。

### 2. バイオ・ヘルスケア産業の育成・創出

超高齢社会を迎えて成長が期待されている健康・医療分野への新規参入や新商品開発について、福祉現場や薬事などに精通している専門人材と連携しながら支援を行う。バイオ系スタートアップ等への研究開発支援を継続し社会実装を加速させるとともに、国内外の企業間マッチングを支援することで道内バイオ関連企業のグローバル展開を後押しする。

### 3. ものづくり産業の育成と集積

道内企業の生産性向上を強力に支援するため 2022 年度に立ち上げた「北海道 DX 推進協働体」の機能を最大限に活用し、DX 化、ロボット導入、セキュリティ対策、省エネ診断など個社の状況に応じた伴走支援を推進する。

地域の一次産品を活用した付加価値の高い新商品開発については、2023 年度に立ち上げた「HOFOO プロジェクト」によって企画・開発・販売までの一貫した支援を実施する。また、食品産業クラスターの形成に向けたモデルグループを作り実践的な活動を進める。

### 4. 持続可能で強靱な北海道産業の創出

「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、北大キャンパスをフィールドとした実証事業として、電気と熱を統合制御するシステムや構内循環バスの脱炭素化の検討を推進する。

道内の半導体産業の成長に向けて、2023 年度に発足した「北海道半導体人材育成等推進協議会」をベースに、大学等と企業が連携した半導体人材育成に関する事業に取り組む。

### 5. 地域×テクノロジーを支える共創基盤の構築

最終年度を迎える「チャレンジフィールド北海道」は、支援プロジェクトの社会実装を促進するとともに、2025 年度からの自走化に向けて、産学融合の新しい仕組みをノーステック財団内で引き継ぎ、事業として継続できる体制作りを進める。

スタートアップ創出支援については、HSFC（道内の大学・高専などからなるプラットフォーム）と連携し、大学発スタートアップ創出に向けた支援活動を強化して展開する。

以上

## 1. イノベーション創出に向けた人材・技術シーズの発掘と育成

新技術・新産業創出に向け、これまで財団が実施してきた研究開発支援事業を起点として、大学などで生み出されている研究成果（研究シーズ）を発掘・育成し、地域企業と連携したプロジェクトを推進する。

### <研究開発助成事業>

#### (1) 若手研究人材育成事業（札幌市補助・自主）

北海道の将来の地域振興や産業の発展に資する先導的な研究を担う若手研究者の発掘を目的に研究費の助成を行う。

【助成額】 40 万円以内/件 30 件採択予定 （補助率 10/10）

#### (2) イノベーション創出研究支援事業（北海道補助・自主）

北海道の大学・試験研究機関などの優れた研究シーズ、地域資源などの活用を図る研究開発を支援することにより、北海道の産学官連携の基盤形成を推進するとともに、北海道経済の自立・発展及び道民生活の向上を目指す。

##### ① 産学連携創出補助金

北海道内での事業化に向けた先導的な技術シーズ創出を目指す研究を支援する。

【助成額】 200 万円以内/件 13 件採択予定 （補助率 10/10）

##### ② 研究成果展開補助金

産学の共同研究成果などを活用して北海道内で事業化を目指す研究を支援する。

【助成額】 400 万円以内/件 5 件採択予定 （補助率 10/10）

#### (3) 札幌バイオシーズ事業化支援事業（札幌市補助）

札幌市内の企業と道内研究機関が共同して行うバイオ分野の研究開発の事業化を促進し、札幌市の産業を活性化することを目指す。

【助成額】 300 万円以内/件 10 件採択予定 （補助率 10/10）

#### (4) 次世代型研究開発事業（自主）

上記、(1) ～ (3) の取り組みを基に、有望技術シーズの市場調査・技術動向調査や技術シーズを検証するための FS を実施する。

### <産学連携研究開発プロジェクトの創出・育成>

#### (5) 産学連携研究成果展開事業（自主）

企業等の産学連携研究成果の事業化に向けた取り組みにおいて、具体的な課題解決を側面支援することにより、新規事業の立ち上げやスタートアップの創出を促進する。

また、専門家を活用した支援活動を通して専門知識や支援スキルの醸成を図る。

#### (6) 成長型中小企業等研究開発支援事業（経済産業省補助）

中小企業等が大学、公設試等の研究機関等と連携して行う、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化につながる研究開発及び事業化に向けた取組みを支援する。

## 2. バイオ・ヘルスケア産業の育成・創出

超高齢社会を迎え今後、成長が期待されている医療・ヘルスケアをはじめ、食・運動・睡眠・住環境など健全で生き活きとしたライフスタイルの実現に貢献する産業の育成・創出に取り組む。

### ＜新事業創出に向けた研究開発支援＞

#### (1) 先端研究産業応用検証事業（札幌市補助）

先端的な技術シーズ・研究基盤を活用した事業化に取り組むスタートアップ等が行う研究開発を支援する。

##### ① 感染症対策医療・予防関連開発補助金

新型コロナウイルスを含む感染症の治療や予防において、医療機関等のニーズに合った新たな技術・製品の開発等を目的として、将来的な実用化・事業化を目指した企業の取組を支援する。

【助成額】 100～1,000 万円以内/件 1～3 件程度 （補助率 2/3）

##### ② デジタルヘルス事業化支援補助金

医療・ヘルスケア領域における DX を推進する製品・サービス開発を支援することで、札幌イノベーションファンドからの投資を目指すスタートアップや IT 企業等の成長を促進する。

【助成額】 100～250 万円以内/件 4 件程度 （補助率 2/3）

#### (2) 医療連携開発支援事業（札幌市補助）

医療機関等の現場従事者や患者等を取り巻く新たなニーズや課題解決に向け、将来的な実用化・事業化を目指す技術・製品開発に対し支援する。

【助成額】 100 万円以内/件 5 件程度 （補助率 10/10）

#### (3) 研究開発支援補助等運営事業（札幌市補助）

札幌バイオシーズ事業化支援事業、先端研究産業応用検証事業、医療連携開発支援事業にかかる調査・選考審査など円滑な事業運営を行う。

### ＜新規参入企業・スタートアップの課題解決支援＞

#### (4) ヘルスケア関連産業参入支援事業（外部資金）

医療・ヘルスケア産業への新規参入を促す勉強会・セミナーの開催や、新規参入企業の課題解決に向けたアドバイザー派遣を実施する。

#### (5) スタートアップの課題解決支援事業（札幌市補助）

健康・医療分野における新規事業創出を目指す企業やスタートアップ人材の課題解決に向けた伴走支援を行う。

#### (6) 展示商談会等参加支援事業（札幌市補助）

バイオ・ヘルスケア分野に参入する IT・ものづくり企業等の販路開拓や連携先探索に向けて、国内で開催される展示会への出展を支援する。

また、スタートアップ等に対し、海外製薬企業等とのアライアンス促進に向けて海外で開催される展示会・マッチングイベントへの参加を支援する。

#### ＜機能性食品・健康関連産業創出＞

##### (7) 機能性食品開発支援事業（外部資金）

道内の食品産業の振興と道民の健康維持・増進を目的に、ヘルシーDo等の機能性食品の開発に向けた人材育成研修を行うとともに、マーケットを見据えた売れる商品開発支援等を行う。

##### (8) バイオ・健康長寿産業創造事業（自主）

道内の機能性食品や創薬関連の研究開発や販路拡大を目的としたネットワークを構築し、バイオ関連企業の売上げ増加を目指す。

### 3. ものづくり産業の育成と集積

Society5.0で提唱されている社会の実現を目指し、ものづくり産業のスマート化とデジタル技術革新（IoT、5G、AI技術などの利活用）による生産性向上や、新技術・新製品開発などに向けた取り組みを行う。

また、道内各地域のクラスター形成を促進するため、地域資源を活かした商品開発や販路拡大に対し専門家の活用を含めて一連のサポートを行う。

#### ＜新技術・新製品開発、実用化・事業化に向けた支援＞

##### (1) ものづくり開発・グリーン成長分野推進事業（札幌市補助）

「さっぽろ連携中枢都市圏」（札幌市と近隣11市町村）の中小企業者等が行う「ものづくり分野」や「環境関連分野」における、新技術・新製品開発を支援する。

##### 【助成額】

- |          |   |             |        |           |
|----------|---|-------------|--------|-----------|
| ・ものづくり分野 | ： | 0,500万円以内/件 | 5件採択予定 | （補助率 1/2） |
| ・環境関連分野  | ： | 1,000万円以内/件 | 2件採択予定 | （補助率 2/3） |

#### ＜省力化・労働生産性向上に向けた支援＞

##### (2) DX等推進伴走型支援事業（自主）

人手不足やエネルギー高騰等に悩む道内企業が主体的に取り組むDX等による企業変革の実現に向け、支援チームによる集中的な助言・指導を実施する。

##### (3) 地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業（北海道補助）

道内7圏域（函館、室蘭、苫小牧、旭川、帯広、釧路、北見）の産業支援機関と連携し、道内ものづくり企業における先端技術を有する専門人材の確保・育成等を支援する。

##### (4) ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業（外部資金）

「ゼロカーボン北海道」や「Society5.0推進計画」に対応したセミナー・相談会の開催、企業への専門家派遣やマッチング会を通じ、道内ものづくり企業の脱炭素・DX推進に向けた取組を支援する。



(5) ものづくり企業人手不足対策事業（札幌市補助）

「さっぽろ連携中枢都市圏」（札幌市と近隣 11 市町村）の中小企業者が行う、製造現場における省力化・自動化に資する取組を支援する。

【助成額】 150 万円/件 10 件採択予定 （補助率 1/2）

(6) 経済産業支援事業（自主）

道内の中小企業が企業連携または大学等と連携して、新たな商品・技術・新サービスの開発を目指した調査研究・研究開発・試作実証などを支援する。

(7) ビジネス創出連携事業（自主）

ものづくり産業の育成と集積に資する財団独自の活動や、過年度支援企業のフォローアップ等を実施する。

＜クラスター形成に向けた地域の仕組みづくり＞

(8) 地域産業クラスターものづくり支援事業（自主）

道内各地域のクラスター形成を促進するため、地域資源を活かした商品開発やものづくりを支援するとともに、専門家派遣や販路拡大など一連のサポートを行う。

【助成額】 50 万円以内/件 20 件採択予定 （補助率 2/3）

(9) 食品産業クラスターの形成支援（自主）

食品産業クラスター形成に係わるネットワークを構築し、実践的な研修会や交流会などの取組を通じて、クラスターの芽となる、地域におけるモデルグループを発掘する。

## 4. 持続可能で強靱な北海道産業の創出

持続可能で強靱な北海道産業に向けた新たな産業の創出とともに SDGs に貢献する未来を見据えた産業の育成に取り組む。

＜未来を見据えた産業創出＞

(1) 未来創造事業（自主）

① 北大キャンパスをフィールドとするゼロカーボンの実証等

「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、北大キャンパスをフィールドとした実証事業として、電気と熱を統合制御するシステムや構内循環バスの脱炭素化の検討等を行う。

② 半導体関連産業育成事業

人材不足が懸念されている半導体関連産業の人材育成に向け、道内大学・高専等での実務者による出前講座の開催や半導体企業への見学会の開催等を行う。

＜基盤技術創出支援＞

(2) 幌延地圏環境研究事業（経済産業省補助・共同研究）

長期研究計画に基づき、猿払村小石地区に設置した 6 本のボーリング孔を活用し、SCG 法の実用化に向けて基礎データを収集するとともに、現場模擬試験系の構築などにより、

CO<sub>2</sub> 注入試験によるメタン生成の検証を加速し、そのメカニズムの解明を進める。

また、地域の有用資源であるヨウ素の起源の解明に向けて各種分析を進める。

(3) 幌延地圏環境研究所運営事業（幌延町補助）

幌延地圏環境研究事業に係る研究目標の達成に向け円滑な事業運営を行う。

## 5. 地域×テクノロジーを支える共創基盤の構築

地域における課題解決や新価値の創造に向けて、大学などの「知」を活用した産学官の共創によるイノベーション創出の基盤を構築するとともに、イノベーションの一翼を担うスタートアップを創出する仕組みを整備する。

### ＜地域課題を解決する産学官連携イノベーション創出プラットフォームの構築＞

(1) 産学融合拠点創出事業「チャレンジフィールド北海道」（経済産業省補助）

道内の産学官金 40 機関の知を結集し、豊かな食・エネルギー資源などの北海道の特性を生かして、産学融合によるイノベーション創出を加速させ、豊かさを実感できる社会の構築を目指す。

(2) 産学融合プロジェクト支援事業（自主）

「チャレンジフィールド北海道」では、大学と連携し、研究シーズを起点とした事業創出プロジェクト、地域課題を起点とした課題解決プロジェクトの創出に取り組んでいる。有望な発展性のあるプロジェクトについて、スピード感のあるブラッシュアップ支援を行うことで、課題解決までの展開を加速する。

(3) スタートアップ・エコシステム共創プログラム事業（JST 委託）

北海道大学を主幹機関とする「北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク（HSFC：エイチフォース）」に参画し、道内の大学・高専における新たなシーズの発掘や伴走支援、GAP ファンドの募集・選考、VC とのマッチングに向けた研究成果発表会の開催等の起業支援を行う。

(4) 北大リサーチ&ビジネスパーク推進支援事業（北大 R&BP 推進協議会委託）

産学官協働によって北大北キャンパスに整備されたリサーチ&ビジネスパークの機能を最大限生かし、イノベーションを連続的に創出し、社会課題解決と道内経済の発展を図る。

(5) JICA 研修事業（JICA 委託）

中長期的視点に立ち北海道と海外諸国とのネットワークを構築するため、開発途上国の政府・公共団体関係者などを対象に、各国が抱える開発課題の解決に向け、地域産業振興手法習得に係る研修を行う。また、開発途上国の産業クラスター形成活動に従事する行政官などを対象に、北海道産業クラスター設立の背景、条件、関連機関の連携及び具体的活動などに係る研修を行う。

(6) 産学官連携推進事業（自主）

産学官連携によるイノベーションの創出を目指して構築された様々なプラットフォームとの連携強化を図ると共に、ネットワーク形成に資する活動を行う。

(7) コラボほっかいどう運営事業（自主）

北海道産学官協働センター（コラボほっかいどう）の共同研究施設の貸与を行い、産学連携による共同研究が円滑に推進されるよう施設の適正な管理・運営と、入居者などに対する各種サポートを的確に実施する。

以上